

めだかの飼育  
E棟 誕生会

### 十三回忌

江戸川病院院長 新村ヨシオ



マユハケオモト (関看護部長撮影)

回忌は人の死後、年毎に巡ってくる当月当日の忌日と言われる。その満一年目を1周忌または1回忌、満二年目を3周忌または3回忌という。以下7回忌(満六年目)、13回忌、17回忌、23回忌、27回忌、33回忌、50回忌、100回忌などがあり仏事供養する(広辞苑)。死者の冥福を祈るために供養するが、寺や墓地で住職に読経してもらい焼香した後に、墓に塔婆を立て線香を供える。日本は仏教国であり、先祖崇拝の文化が根差しており、国民は当然のように回忌の行事に留意している。法事と総称して、追善供養をするようであるが、霊魂信仰も加わり先祖のたたりにも畏怖することもある。律儀に引き継がれてきた。墓前に立つだけで先祖に思いをはせ、引き締まる思いがする。法事は死者の親族をはじめ、本人にゆかりのある人が参列するが、一族の血縁が多い家系では規模は大きい。分家の場合は小規模なものになる。

回忌の法事は人を寄せつける。普段疎遠になってしまう人と会う機会も作ってくれる。一般的には死者からみて三親等あたりまでに声が

掛かる。大家族であれば大勢の人間が集合する。家風や地域性によってもやり方は多少差異があるだろう。主催する人も計画を立て出席者の銓衡をはじめ、日程の調整、会食の準備、連絡など苦労は多い。日時や場所は全員の都合がつくことは少なく、半ば押しつけにはなってしまうのは仕方がない。なぜか法事は万障繰り合わせて参加する国民性から、声かけした人の8~9割の人は参加してくれるものようだ。故人を忍びながら、参加者の近況も話題になり、それぞれが老いてきたり、成長したりと変化していることを気付かされる。やはり法要は親族の消息を知ることにもなり、一族の同一性を確認することにもなる。普段は全く忘れてしまったことも親族が集まって忍んでいる会話を聴くと、改めて故人の記憶が甦ってくることもあり懐かしく思える。

回忌の法事はどれ位続けるのかという問題がある。先祖を敬うと言っても限界はあると思われる。なかなか中止することは勇気がいるからだ。あまり続けると遺族の負担になってくる。自身が耳にしたものでは、50回忌の法事に参加した人の話を聞いた。その人は一族に君臨していた方がいて、かつ兄弟が多かったため大家族であった。その家は地域性もあって血縁があり、分家の筆頭者は参加するのが習慣であって、50回忌に参列したと述べていた。年間に1~2回は法事があって、九州に帰ると口にしていた。実際に70~80人も参加するので、親戚なのに顔の分からない人もいたとのことだった。この人の話は極端と思われるが続けるのが大変である。この時代になっては33回忌を実施した人はいたが、父親が早く亡くなったために子供と孫だけで法要した人だった。現在は13回忌をする人が少なくなったようだ。

十三回忌は本年10月1日に実施された。当院の創始者で前理事長の新村秀雄のものであった。平成17年10月13日に急逝してから13年目に入る。本当に早いものである。突然の死去で当時は何も考えられず、目の前の問題を解決するだけで精一杯であった。皆の協力でここまでやってこられ感謝している。大きな判断を矢つぎばやに求められ、決心がつかなくて墓前で手を合わせて心を鎮めたこともあった。傍観者的に経営に携わっていた時とは雲泥の差で、当事者になると重さに押しつぶされていた。心身共に参っていたが、周囲の人の支援を受けて乗り越えてきた。十三年前と比較しても病院も前進しており、故人も安心しているのではないかと思ったところである。前理事長は分家ではあるが、創始者であるし組織にとっても貢献度が大きく、家族にとっても心の支えになっているので、病院が続く限りは引き継がれると思っている。

**メダカ**がやってきました！！ 外来や病棟にメダカの水槽を設置しました。泳いでいる姿をただぼんやり眺めているだけで心が癒されてくるように感じます。近づくともメダカたちが集まってくるので可愛らしいですよ。ぜひご覧になってください。



## E棟 9月誕生会

## ～直寿会～

「直寿会」の皆さまが来院されました。きれいな花笠を手に登場されると、患者様は音楽に合わせて楽しそうに踊っていらっしゃいました。民謡に合わせた体操や唄など患者様が楽しめるよう工夫を凝らした公演で、大変盛り上がりました。



## 江戸川病院 10月院内行事予定

### ◇病棟◇

南部小学校コンサート(誕生会) 10/21(土) 13:30～E棟6階

### ◇デイケアつぼみ◇

木野崎病院合同運動会 10/28(土) 10:00～院庭

『あおぞらだより』に関するご意見・ご感想・ご投稿などは『医療相談室』までお寄せ下さい。(内線 238)

医療法人社団全生会 江戸川病院  
〒278-0022 千葉県野田市山崎2702  
電話 04-7124-5511(代)  
<http://www.edogawa-hp.com>

編集後記：めっきり涼しくなってきた今日この頃。今月、院内行事ではコンサートや運動会があるので、芸術の秋・スポーツの秋を堪能しようと思っています。皆さまも色々な秋をお楽しみください。